令和６年度第１回

豊後高田市総合教育会議

日時　令和７年２月６日（木）13:30～

場所　市役所高田庁舎３階　防災対策室

～　次　第　～

１．開会

２．市長あいさつ

３．教育長あいさつ

４．協議・調整事項

（１）児童・生徒の学力、体力について　・・・　１～７

（２）部活動の地域展開について　・・・　８～13

（３）教育用タブレットの更新状況について　・・・　14～16

（４）高田高校への昼食の無料提供について　・・・　17～19

（５）中学３年生の進路状況について　・・・　20～21

（６）園児・児童・生徒数の推移について　・・・　22～23

５．意見交換

６．その他

７．閉会

協議・調整事項

（１）児童・生徒の学力、体力について

令和6年度　豊後高田市学力定着状況調査結果　　小学校

令和6年　12 月12日実施

学年	教科	目標値	本市の正答率	目標値との差	全国平均	全国平均との差
3年	国語	55.7	67.5	11.8	64.8	2.7
	算数	60.5	76.4	15.9	72.3	4.1
4年	国語	56.8	62.6	5.8	65.1	-2.5
	算数	61.1	71.5	10.4	71.7	-0.2
	理科	53.8	68.0	14.2	66.9	1.1
5年	国語	58.3	68.7	10.4	66.2	2.5
	算数	57.2	71.9	14.7	64.6	7.3
	理科	54.5	67.9	13.4	63.0	4.9
6年	国語	56.0	64.6	8.6	64.5	0.1
	算数	56.2	68.0	11.8	70.3	-2.3
	理科	61.5	68.2	6.7	69.5	-1.3

目標値・全国平均との差　＋3ポイント以上…■　　－3ポイント以下は…■

■良好な項目

○全ての学年・教科において目標値を上回っている

○小3・小5においては全教科で全国平均を上回っている。

○国語において、小3・小5・小6の応用・活用問題において全国平均を上回っている。

○算数において小3・小5でほとんどの領域・単元で全国平均を上回っている。また、無解答率も低い。

○理科において、小4・小5において基礎・応用とも全国平均を上回っている。また、小4～小6ともに記述式の問題において平均を上回っている。

■課題がある項目

○国語において、小4以上の「漢字の書き」において全国平均を下回る問題が多く、無解答率も高くなっている。

○算数では、小6の全ての領域において全国平均を下回っており、特に立体図形の単元において正答率が低くなっている。

○理科では、振り子の運動（小6）や電気の通り道（小4）の単元において正答率が低くなっている。

今後の対策

○その学年で付けるべき力を確実に身に付けさせ、知識・技能を定着せるための取組

・単元ごとの定着状況の把握とパターン分析から見えた基礎・基本の定着のための取組　（単元テストのやり直しの徹底、小テストの実施、個に応じた課題）

○わかる授業に向けた授業改善

・「めあて・課題、まとめ・振り返り」を位置付けた「わかった！できた！」を実感する授業づくり

・協調学習における主体的・対話的で深い学びの授業実践の推進による活用力・表現力の育成

・学校規模に応じた授業形態（アウトプット型授業、個別指導、補習指導　等）

○効果的な家庭学習の推進

令和6年度　豊後高田市学力定着状況調査結果　　中学校

令和6年　12 月 11日実施

学年	教科	目標値	本市の正答率	目標値との差	全国平均	全国平均との差
1年	国語	56.5	68.8	12.3	67.5	1.3
	社会	51.9	60.7	8.8	58.4	2.3
	数学	49.8	50.7	0.9	53.9	-3.2
	理科	50.5	65.1	14.6	62.7	2.4
	英語	55.3	67.0	11.7	66.8	0.2
2年	国語	59.0	65.4	6.4	66.9	-1.5
	社会	46.9	48.0	1.1	52.4	-4.4
	数学	41.1	39.7	-1.4	43.1	-3.4
	理科	45.6	45.8	0.2	47.8	-2.0
	英語	50.2	49.8	-0.4	51.7	-1.9

目標値･全国平均との差　＋3ポイント以上…■　　－3ポイント以下は…■

■良好な項目

○中１の全ての教科において目標値を上回っている。
○国語において漢字の読み書きにおいて中１･中２ともに平均を上回っている
○英語において、中１では「聞くこと」「読むこと」、中２では「書くこと」において全国平均を上回っている。
○中１の社会において、世界の地理、日本の歴史の流れについて正答率が高くなっている。
○中１の理科において、どの観点、どの領域とも全国平均を上回っている。

■課題のある項目

○国語において、記述式の問題の平均正答率が低くなっており、無解答率も高い。また、適切な敬語を選択する問題（中１）において正答率がかなり低くなっている。
○中１･中2とも数学が全国平均と比べると低くなっており、課題が見られる。特に、方程式の利用（中１）、円･球、１次関数（中2）など。円･球については昨年度も課題としていた。
○中２の英語において、聞き取りの問題、また、記述式の問題について正答率が低くなっている。

今後の対策

○その学年で付けるべき力を確実に身に付けさせ、知識･技能を定着せるための取組
・単元ごとの定着状況の把握とパターン分析から見えた基礎･基本の定着のための取組　（単元テストのやり直しの徹底、小テストの実施、個に応じた課題）
・教科部会による課題分析と来年度につなげる対応策の検討及び授業実践
○わかる授業に向けた授業改善
・「めあて･課題、まとめ･振り返り」を位置付けた「わかった！できた！」を実感する授業づくり
・協調学習における主体的･対話的で深い学びの授業実践の推進による活用力･表現力の育成
・学校規模に応じた授業形態（アウトプット型授業、個別指導、補習指導　等）
○効果的な家庭学習の推進

豊後高田市学力定着状況調査の分析と対策について

豊後高田市教育委員会

１．目　的

豊後高田市学力定着状況調査における児童・生徒の解答状況を学校全体で分析することにより、課題を明らかにし指導の改善を図るとともに、学力定着のための取組に生かす。

２．分析の方法

◇結果はWebと紙帳票で届く。

・調査結果紙帳票については、２月初旬までに業者から直接学校へ配送。

・Web分析システム「SYEN（シエン)」システムにより、１月末には結果データが公表される。

（１）各校における教科ごとの分析　（提出有り）

①結果帳票をもとして４層分析を行い、指導法の振り返りを行う。

②実際に全教職員が問題を解き、課題を把握、子どものつまずきの要因を探る。

③正答率が低く課題の見られる設問を明らかにする。

・問題内容、領域、観点ごとに課題となる分野を明らかにする。

④課題のある学習内容を絞り込む。

・「設問別解答状況・誤答分析一覧」・・・解答を類型分けしているので、誤りの傾向がわかりやすい。

⑤指導の改善策を立て、全教職員で共有をし各学年段階においた指導を工夫する。

・「記述ができていない」の課題に対して、なぜ記述できていないのか、なぜつまずいてるのか、「なぜ」を深堀し指導の改善策を立てる。

※具体的な改善の取組は１～２点程度に焦点化する。）

＜８月実施の第２回地域授業改善協議会での研修を参考に＞

⇒校内研修等を使い、職員全体で協議する。

（２）教科部会における分析

・教科部会を開催し、課題解決のための方策を立て、実施する。

３．分析・対策の報告

「様式１」または「学校独自様式」により教育委員会へ報告する。

令和７年　２月14日（金）　【板井あて】

４．その他

○学力向上プランの提出　令和７年　２月28日（金）　【板井あて】

○４月までの短期学力向上プランの作成・提出　（様式指定なし）

令和７年　２月28日（金）　【板井あて】

（様式１）

令和６年度豊後高田市学力定着状況調査結果【 国語 】の分析・対策

（　　）学校（　６　）学年

１　教科の結果

	教科全体	基礎	応用	出題形式		
				選択式	短答式	記述式
本校の正答率						
目 標 値	56.0	56.3	54.5	―	―	―
全国平均	64.5	64.8	62.3	66.8	66.2	51.9
豊後高田市平均	64.6	64.3	66.4	67.6	60.2	58.4

２　４層分析

パターン名	具体的な設問
パターンⅠ A-B層の差が 大きい	
パターンⅡ B-C層の差が 大きい	
パターンⅢ C-D層の差が 大きい	

３　誤答分析概要

【例】

・聞くことにおいて、問題文の質問意図を理解できていない。

・文章の構成について、アドバイスをもとに条件に沿って文章を書き直すことができていない。

・

・

４　具体的な改善策（課題を焦点化し、改善の取組は１～２点程度）

（いつ、どのように）

【例】

・「話すこと・聞くこと」の単元においては、相手の話を聞きながらメモをとるポイントを指導し、普段のスピーチや話し合い活動の中でも、聞こえた情報の単語や文節など情報を短時間でメモを取る活動を入れる。

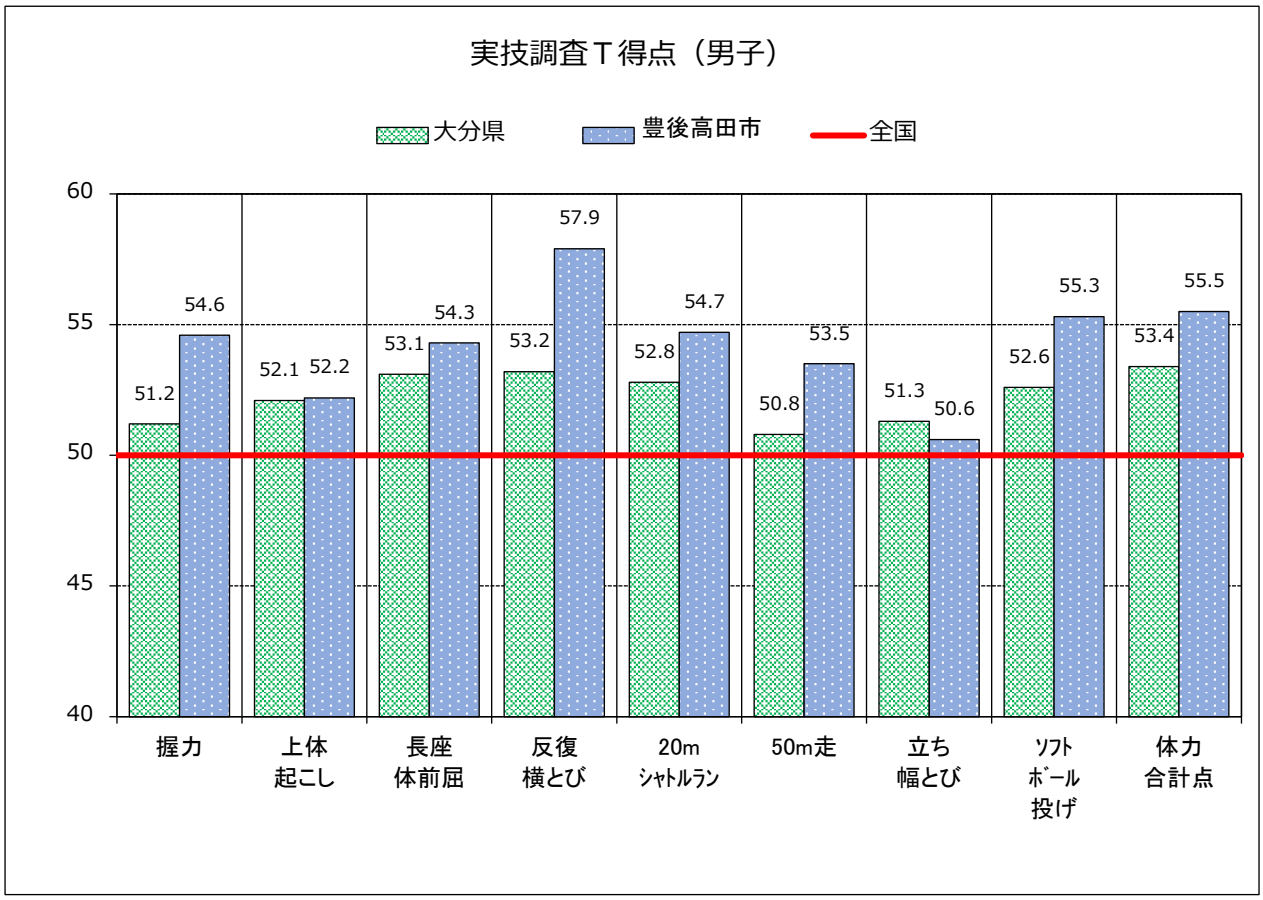
・

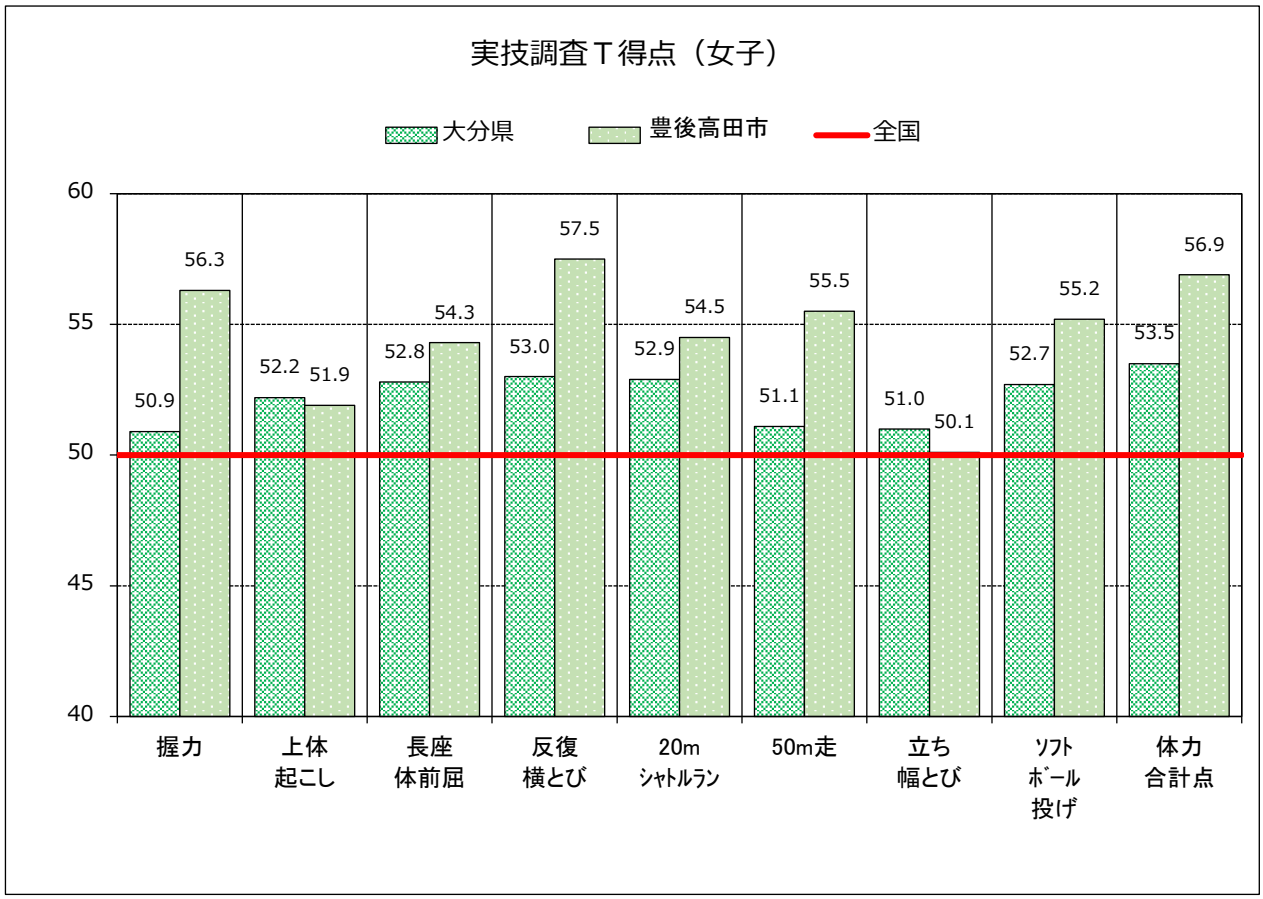
・

※枠は広げて使ってください。

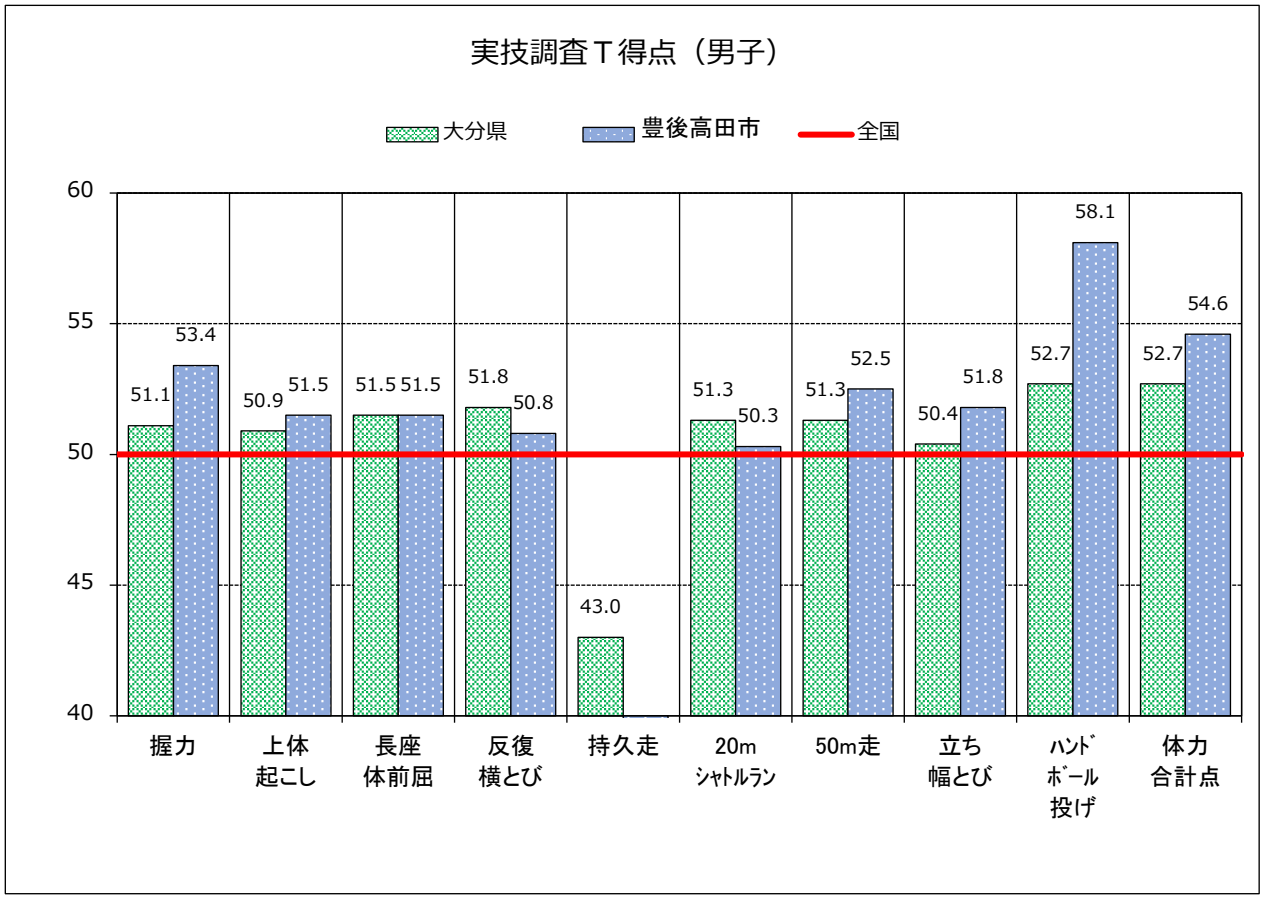
令和６年度 全国体力・運動能力調査結果

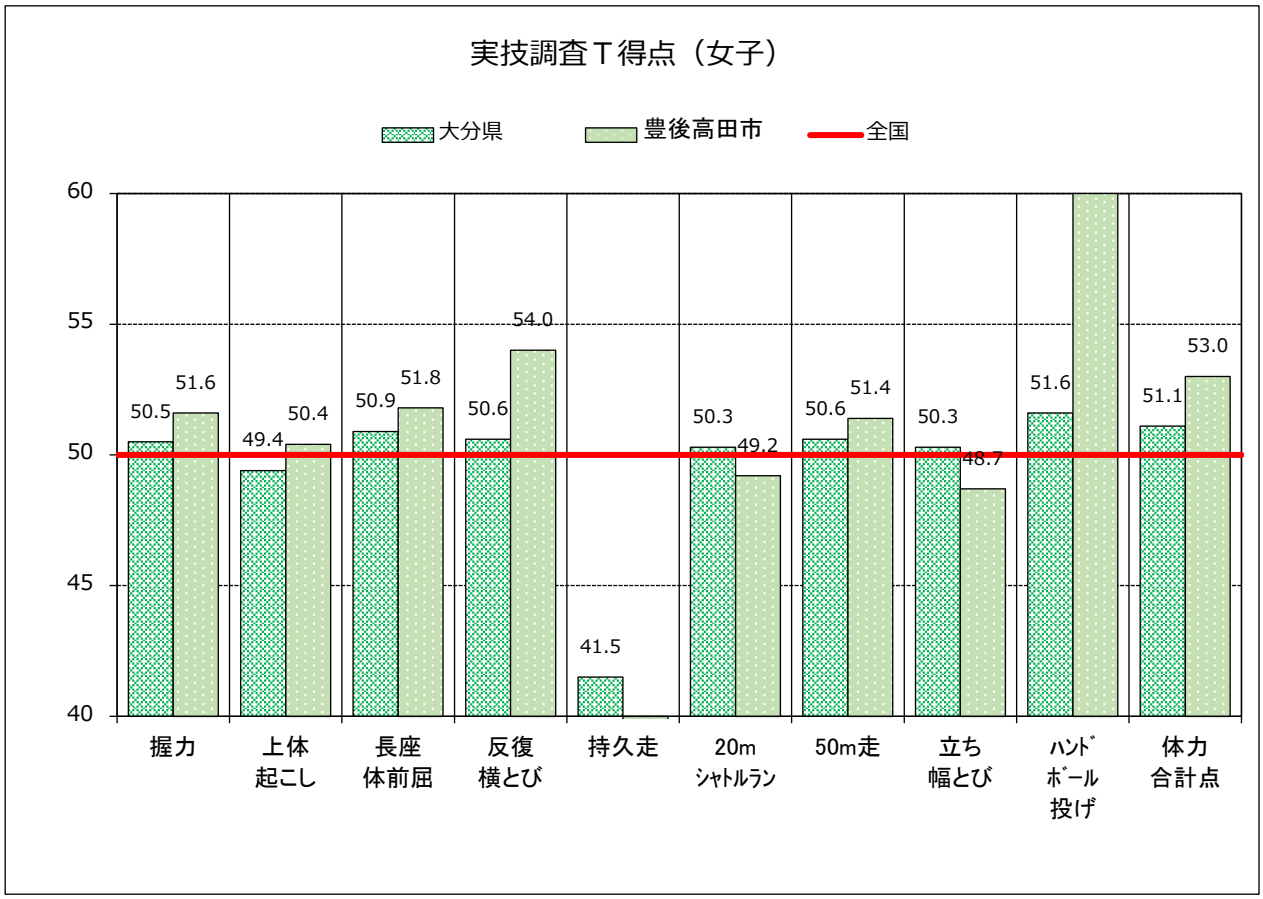
小学校





中学校





※「持久走」と「20mシャトルラン」は選択です。市内中学校は、「20mシャトルラン」を選択しています。

協議・調整事項

（２）部活動の地域展開について

豊後高田市「部活動の地域展開」の現状について

１．現状

豊後高田市においては、国の方向性と豊後高田市の現状を踏まえ、一人ひとりのニーズに応じたスポーツ・文化芸術環境を整えるため、令和４年度に部活動検討委員会を立ち上げ、部活動の地域展開の実現について協議を進めています。

現在、国は令和５年度から令和７年度までの３年間を改革推進期間としており、令和８年度には休日の完全移行を目標としています。市においても、令和７年度末を目途とし、中学校部活動「休日指導」の移行のための条件整備を進めています。

今年度は、学校部活動 37 部（運動部 30 部・文化部７部)、拠点型部活動６部（運動部２部・文化部４部)、地域移行として１部が活動を行います。部活動指導員においては運動部６名・文化部６名を配置しています。地域クラブ指導者については、２名の配置となっています。

また、市教育委員会に地域移行に係る総括コーディネーターを１名配置し、地域移行の円滑な運営、体制づくり等コーディネーターを核としてさらに進めていきます。

今後も、地域クラブ活動の在り方に関する方針の策定・文化部の休日の地域移行等、引き続き検討委員会で協議を重ねていき、豊後高田市の生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境づくりに努めていきます。

２．これまでの取組

①地域移行のための組織編制

部活動検討委員会　　（市教委、ＴＭＫ、中学校）

部活動等検討委員会　　（市教委、ＴＭＫ、中学校、小学校、高校、保護者）

部活動等拡大検討委員会（市、市教委、ＴＭＫ、中学校、小学校、高校）

②部活動に関係する団体の現状把握（種類、指導者、参加者等）

・中学校　・ＴＭＫチャレンジクラブ　・高田高等学校　・スポーツ少年団等

③持続可能な部活動等の地域移行の進め方の整理

④「豊後高田市立中学校部活動の地域指導者に関する要綱」の作成・検討

⑤地域移行を周知するリーフレットの作成

⑥アンケート調査用紙（保護者用・児童生徒用・教職員用）の作成

⑦部活動の地域移行への周知　（リーフレット配布）

⑧アンケート調査の実施（令和４年度中）※調査用紙は作成済

対象：保護者　（幼稚園年長～中学校１・２年生）

児童生徒（小学校５・６年、中学校１・２年）、教職員（小学校・中学校教職員）

⑨「豊後高田市新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」の作成

⑩「豊後高田市中学生校部活動地域指導者人材バンク」の案作成（県と調整中）

⑪地域スポーツクラブ「ぶんごたかだカヌークラブ」設立

⑫文化部活動・部活動指導員の拡大

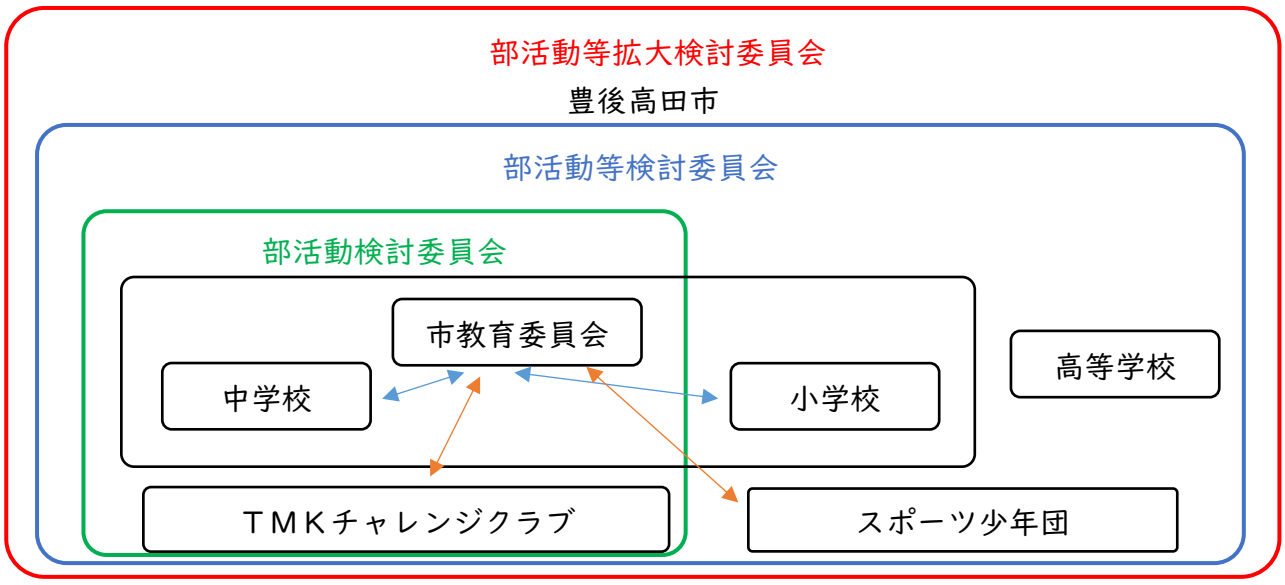
３．今後の取組

・指導者の確保　　・財源の確保　　・文化部の休日の地域移行

・「豊後高田市中学生校部活動地域指導者人材バンク」設立

・学校部活動の整理

令和６年度　組織



部活動検討委員会

	氏　名	役　職	所　属　等	備　考
1	河野　　潔	委員長	市教育委員会　　教育長	
2	河野　政文	副委員長	市教育委員会学校教育課　課長	
3	上家　誠夫	事務局長	市教育委員会学校教育課　係長	事務局
4	安部　直彦	事務局員	市教育委員会学校教育課　コーディネーター	事務局
		委　員	ＴＭＫチャレンジクラブ　事務局長	
5	小川　　匡	委　員	豊後高田市立高田中学校　校長	事務局
6	河野　邦子	委　員	豊後高田市立河内中学校　校長　中文連代表	
7	清輔　康一	委　員	豊後高田市立田染中学校　校長	
8	小田　豊昭	委　員	豊後高田市立戴星学園　学園長　中体連代表	事務局
9	河野　信一	委　員	豊後高田市立真玉中学校　校長　中学校長会長	
10	明石　哲也	委　員	豊後高田市立香々地中学校　校長	

部活動等検討委員会

11	植田　克己	委　員	市教育委員会教育総務課　課長	
12	荒木　昌史	委　員	市教育委員会教育総務課スポーツ振興係　係長	事務局
13	尼子　啓	委　員	市教育委員会教育総務課スポーツ振興係　主任	事務局
14	近藤　哲司	委　員	豊後高田市真玉小学校　小学校長会長	
15	田北　聡	委　員	大分県立高田高等学校　校長	
16	河野　史郎	委　員	市ＰＴＡ連合会　会長	

持続可能な部活動等の地域移行の進め方

【豊後高田市における運用】

〇運動部活動においては、競技力の保障、競技人口増加の両面を考慮する必要がある。複数校合同チームの編成も行う。

〇文化部やスポーツ少年団も含めて地域移行を考える。

〇高田高等学校は一市一校であり、多くの地元生徒が進学している。長期的視野で小学校から高等学校までのスポーツ環境の構築を考える。

〇レクリエーション的な活動、シーズン制のような複数種目を経験できる機会の設定、支援を要する子どものスポーツ機会の保障も考える。

〇保護者の送迎や経済的負担が増えると、子どものスポーツ機会が失われることが考えられる。移住施策（子育て世代への手厚い支援）の功績は大きいが、経済的に厳しい家庭が多いのも事実である。保護者の負担軽減を意識した運用を考える。

〇大会参加においては、国や関係団体（中体連やスポーツ協会等）の動向を注視し、運用面の改善を図る。

〇部活動等の指導を教職員が希望する（兼職兼業）場合の手当支給を含めた制度を考える。

〇学びの２１世紀塾とは切り離して考える。

【組織】

〇部活動検討委員会
（市教育委員会、ＴＭＫチャレンジクラブ、中学校）

〇部活動等検討委員会
（市教育委員会、ＴＭＫチャレンジクラブ、中学校、小学校、高等学校、保護者代表）

〇部活動等拡大検討委員会
（市教育委員会、ＴＭＫチャレンジクラブ、中学校、小学校、高等学校、市）

【対象】

〇部活動（中学校・高等学校）、スポーツ少年団（小学校）、ＴＭＫチャレンジクラブ

【計画】

〇中学校部活動の地域移行（休日の指導）　※令和７年度から移行開始（条件整備が整い次第）

〇中学校部活動の地域移行（平日・休日の指導）　※順次、地域移行を推進
スポーツ少年団（平日・休日の指導）、高等学校部活動の地域移行（平日・休日の指導）

〇学校→ＴＭＫチャレンジクラブ　※最終的には完全移行

【指導者の確保】

〇平日・休日の指導が可能

〇学校教育への理解、専門性の確保

〇法律による身分等の有無、公認資格の有無、中体連等の大会参加規程等の有無

〇募集、登録、更新、解除

【財源の確保】

〇指導者の報酬等の財源　国負担 or 豊後高田市負担 or 保護者負担

〇活動費等の財源　保護者負担

【子どものスポーツ・文化活動の機会の確保】

〇指導者の確保、活動場所や活動時間の確保、保護者の負担軽減

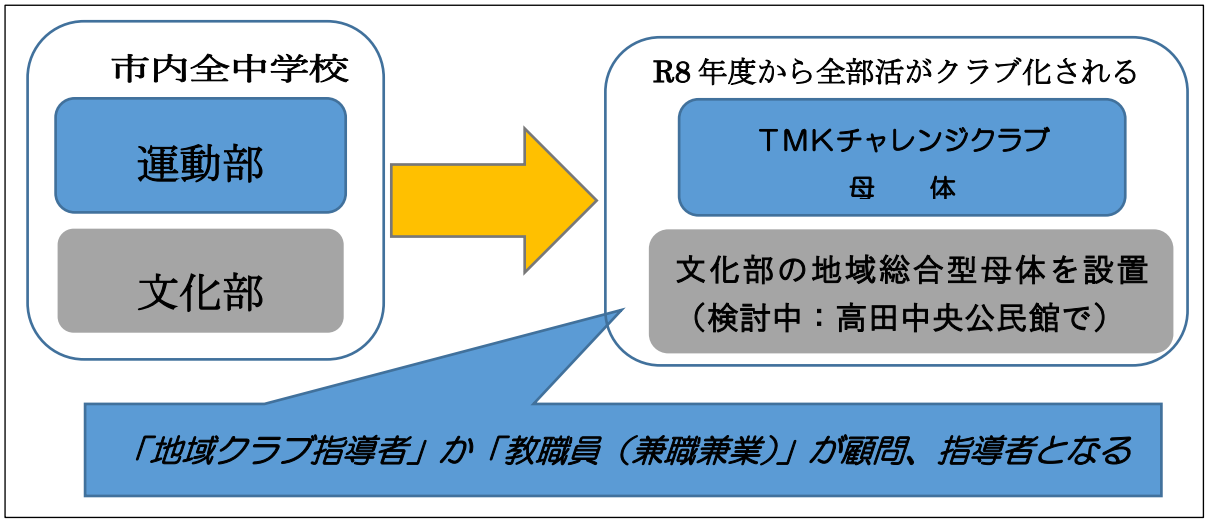
【子どもの健康・安全の確保】

〇週当たり２日以上（平日１日以上、週末１日以上）の休養日を設定

〇活動時間は、長くとも平日では２時間程度、学校の休業日は３時間程度
できるだけ短時間で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を実施

今後の運用

1　R8 年度の「地域展開」クラブ化の姿



2　R6・R7 年度の運用と目標

①今年度６月より「ぶんごたかだカヌークラブ」の設置、活動を開始する。

②地域指導者の確保をしていく。・・・「指導者人材バンク」を設置する。

*人材バンクの設置に向けて
- 教育委員会に「人材バンク」を設立する。
  指導者登録様式作成　　指導者候補リスト作成
- 指導者の発掘・・運動部、文化部の連盟や協会への呼びかけから始める。
- 指導者の募集方法を策定
- 指導者説明会、講習会の準備・・・教育委員会、TMK 運営

③指導者の指導体制
- 平日は教職員、休日は地域指導者が指導する体制を固めていく。
- 教職員は地域指導者として休日の指導もできる（兼職兼業）。
- 地域指導者は平日の指導も可能である。（制度化されている）

④全学校の運動部、文化部を「地域展開」に進めていく。
- 豊後高田市「拠点型部活動」を増設していく。
- 平日の指導を含め、地域展開「クラブ化」への拡大を進めていく。

⑤課題点の検討会議を事務局中心に進め、改善していく。

⑥R8 年度の全部活クラブ化に向けて推進する。

令和６年度　部活動指導員・地域クラブ指導者一覧

	指 導 員 名	活 動 名	所 属 名
学 校 部活動	岩尾 孝義	卓球部	高田中
	田邉 永吉	柔道部	戴星学園
	財前 正則	バレーボール部	真玉中
	中川 省三	野球部	真玉中
	高橋 久美	伝統文化継承「草地踊り」部	高田中
	桑原 恵一	吹奏楽部	高田中
拠点型 部活動	宮元 一郎	ラグビーフットボール部	拠点校：高田中
	近藤 七七美	空手道部	拠点校：高田中
	高折 佳世子	茶道部	拠点校：高田中
	立花 圭太	切り絵部	拠点校：河内中
	徳岡 亮介	ブレイクダンス部	拠点校：高田中
	青山 由香里	そば打ち部	拠点校：高田中
地 域 クラブ	柳本 和馬	カヌークラブ	TMK

協議・調整事項

（３）教育用タブレットの更新状況について

○教育用タブレット端末の更新状況について

【令和６年度の更新状況】

豊後高田市では、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びを実現するため、国の示すＧＩＧＡスクール構想に基づき、１人１台端末の整備を推進してきました。

令和６年度については、ＧＩＧＡスクール構想以前（H29～R1）に整備した学習用端末が更新時期を迎えたことから、国・県の補助事業等を活用し、計画的な更新を行うとともに、学習環境の格差を生まない更新サイクルの整備を行うとの考えのもと、県が設置する共同調達会議に参加する中、８月の県ＩＣＴ連絡協議会による一般競争入札、９月の市議会定例会での財産取得議案の議決を経て、令和７年４月からの運用開始に向け、準備を進めています。

（１）物品の明細

機器名	型番等	数量
iPad　※第 10 世代	MPQ03J/A	490 台
Type-C ｵｰﾃﾞｨｵ変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀ	TS16CK	490 台
RUGGED COMMBO 4 (ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ付ｶﾊﾞｰ)	IK1061BB	490 台
Mobiconnect for Education	管理ｿﾌﾄ	490 台分
iPad キッティング		490 台分
配送費		1 式

（２）契約金額　　￥３０，１３０，１００－

（３）契 約 先　　ミカサ商事株式会社　大分支店

（４）スケジュール

・８月 13 日　　一般競争入札・開札
・８月 20 日　　物品売買仮契約締結
・９月 20 日　　第３回市議会定例会にて議案議決
・９月 20 日　　物品売買仮契約から本契約に移行
・以降、設定（キッティング）に関する詳細打ち合わせ、端末設定作業

【R7】・１月 31 日　　４９０台納品
・２～３月　　各学校への入替作業・配布準備
・４月　　運用開始

【令和７年度の具体的整備内容】

①事 業 名：教育用タブレット端末更新事業

②事 業 費：**２５，２８９千円**（令和７年度当初予算計上済）

※国庫補助により造成された県基金を活用し、**１３，９３３千円**の支援予定あり

補助率：補助対象経費（上限 55,000 円／台）の２／３

③更新端末：令和２年度導入端末の内 **３８０台**

④更新内容：端末・付帯物品の更新

キッティング（各種設定、ソフトウェアインストールなど）作業

【更新計画】

年度	更 新 数【購入】			利 用 開 始 数					
	基本 A	予備 A*15%以内	計	新 小１年	新 小６年	新 中１年	新 中３年	予備機 (学校保管含)	計
R6	427	63	490						
R7	331	49	380	137		172	177	4	490
R8	285	42	327	165		177		38 (177)	380
R9	294	44	338	159		168			327
R10	143	21	164	168	170				338
R11					164				164
R12				(164)					
計	**1,480**	**219**	**1,699**	**629**	**334**	**517**	**(177)**	**219**	**1,699**

※令和６年度から 10 年度までの５年間で全ての端末更新を行い、その後も同様のスケジュールで更新する計画としています。

協議・調整事項

（４）高田高校への昼食の無料提供について

○高田高校への昼食の無料提供について

１　事業目的

「一市一高校」である大分県立高田高等学校には、幅広い進路希望の生徒が在籍し、その生徒一人ひとりに合わせた進路指導が行われる中、難関大学合格から地元への就職など、高田高校に対する市民の期待は多岐にわたっている。

そこで、高田高校へ在籍し、希望する生徒に対して、学校給食センターにおいて調理したバランスのとれた食事を無料提供することにより、高田高校生を応援するとともに、市内唯一の高田高校が市内外から選ばれる魅力的なツールとなり、豊後高田市の更なる移住定住施策の促進と、保護者への経済的支援及び子育て支援の充実を図ることを目的とする

２　事業概要

【実施時期】　令和７年４月から実施します。
※詳細な実施時期については、高校と協議中

【昼 食 費】　希望する高田高校生については無料です。

【メニュー】　小・中学校の献立と同様です。（牛乳除く。）
※１　火曜日、木曜日はパンの日になります。
※２　個別のアレルギー対応は行いません。

【実施体制】

○昼食支援員（４人）配置

・昼食提供がスムーズに行えるよう、配膳、片付けの手伝い、見守り、緊急時の対応を行います。

○生徒による給食当番制の導入

・食缶の運搬、注ぎ分け等の給食当番業務は、生徒自らが行います。

○配送体制の強化

・給食センターの配送ルートを増便し、小・中学校と同様に配送します。

【希望調査】

・来春の新２年生、新３年生には、２月中に希望調査を行います。
・新１年生については、入学説明会以降、３月中に希望調査を行います。

【施設改修等】

・給食配送に伴い、電線の移設、スロープの新設等、高校の施設改修を行います。
・コンテナ、食缶、食器、配膳用長机を整備します。

【周知・ＰＲ】

対象となる高田高校生はもとより、保護者、現中学生などに、幅広く事業を周知・ＰＲすることにより、高田高校のさらなる魅力向上を行います。

協議・調整事項

（５）中学３年生の進路状況について

○中学３年生の進路状況について

中学校３年生の進路の状況については、市内６校の校長と各中学校の学年主任、担任が参加をし、現在まで、５回の進路部会を開催しています。１月 28 日（火）の第５回豊後高田市中学校進路部会では、12 月以降の進路希望の動向について協議をしました。

中学３年生の進路については、多種多様な希望があり、多岐にわたっています。現在も、個別に進路指導を行い多様な進路に対応しながらすすめているところです。

進路選択を希望している生徒の進路先の主な理由としては、進学、部活動、看護科、調理科がある学校、学科、学部、また、部活動では、陸上部、野球部、ソフトテニス部、バスケットボール部、サッカー部、空手道部、バレーボール部、バトミントン部、ラグビー部、卓球部などがあります。

自己の夢を持って、その実現に向かって進もうとする子ども達に適切な指導をしながらも、一市一校である高田高等学校への進学も大事にして進路・進学指導をしているところです。

		高田中学校			戴星学園			河内中学校			田染中学校			真玉中学校			香々地中学校			合計			市外	総計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
高田高校		42	34	76	4		4	2	2	4	3		3	5	2	7	7	5	12	63	43	106	22	128
宇佐高校		5	2	7				1		1										6	2	8		
宇佐産業科学高校		1		1					1	1										1	1	2		
内訳	グリーン環境																							
内訳	電子機械	1		1																1		1		
内訳	ビジネス管理																							
内訳	生活デザイン								1	1											1	1		
中津東高校			1	1											1	1	1		1	1	2	3		
内訳	機械																1		1	1		1		
内訳	電気																							
内訳	土木																							
内訳	生産システム																							
内訳	ビジネス会計		1	1																	1	1		
内訳	ビジネス情報														1	1					1	1		
国東高校																								
内訳	普通																							
内訳	園芸ビジネス																							
内訳	環境土木																							
内訳	電子工業																							
中津南高校			1	1										1	1	2				1	2	3		
中津北高校																								
杵築高校		1		1																1		1		
日出総合												1	1								1	1		
内訳	農業経営																							
内訳	機械電子																							
内訳	総合学科											1	1								1	1		
大分高専																								
その他県立（鶴崎高校・鶴崎工業・別府翔青・爽風館）		4		4								1	1		2	2				4	3	7		
私立（東明、柳ヶ浦、藤蔭、溝部、龍谷,昭和）		6	5	11	1	1	2								1	1	1		1	8	7	15		
特別支援学校					1		1													1		1		
就職・職業訓練																								
熊本高等専門学校		1		1																1		1		
県外公立高校（鳥栖工業）		1		1	1		1													2		2		
		61	43	104	7	1	8	3	3	6	3	2	5	6	7	13	9	5	14	89	61	150		
																					市内総150人			

令和6年度 進路希望調査（R7・2月４日現在）

【県立高等学校試験日・合格発表日】

○県立高等学校試験日：　３月 11 日（火）～12 日（水）

○県立学校合格発表日：　３月 14 日（金）

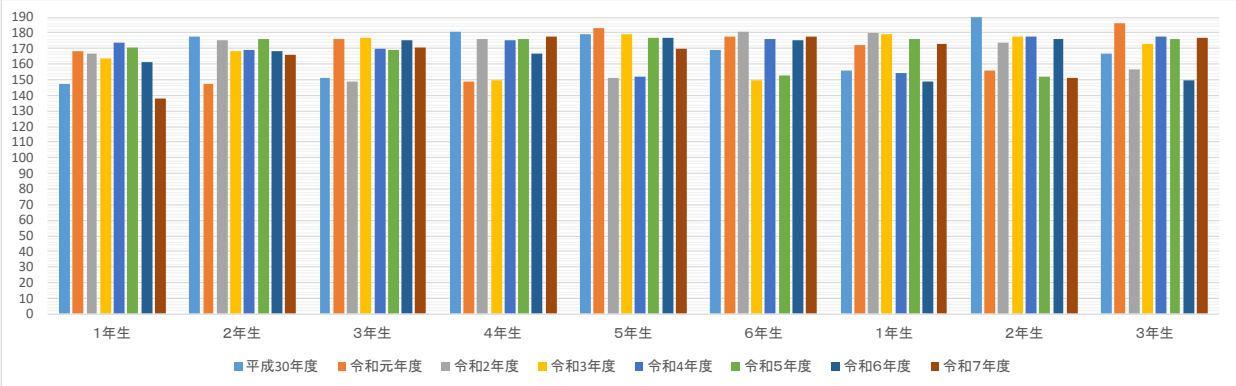
協議・調整事項

（６）園児・児童・生徒数の推移について

園児・児童・生徒数の推移

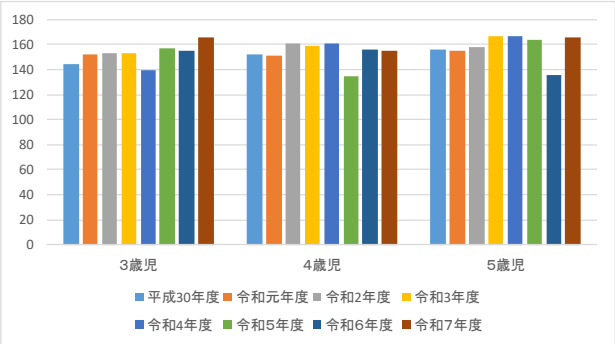
児童・生徒数は、各年5月1日時点（R7年はR7年1月時点の見込み）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	合計
平成30年度	147	178	151	181	179	169	156	190	167	1,518
令和元年度	168	147	176	149	183	178	172	156	186	1,515
令和2年度	167	175	149	176	151	181	180	174	157	1,510
令和3年度	164	168	177	150	179	150	179	178	173	1,518
令和4年度	174	169	170	175	152	176	154	178	178	1,526
令和5年度	171	176	169	176	177	153	176	152	176	1,526
令和6年度	161	168	175	167	177	175	149	176	150	1,498
令和7年度	138	166	171	178	170	178	173	151	177	1,502



園児数（※）は、各年4月時点（R7年はR7年1月時点の見込み）　※幼稚園・子ども園・保育園の合計人数

	3歳児	4歳児	5歳児	合計
平成30年度	144	152	156	452
令和元年度	152	151	155	458
令和2年度	153	161	158	472
令和3年度	153	159	167	479
令和4年度	140	161	167	468
令和5年度	157	135	164	456
令和6年度	155	156	136	447
令和7年度	166	155	166	487



各市町村人口動向から見た5年後・10年後の中学1年生の数

市町村	現状（令和6年度）			5年後（R11年度）の中1		10年後（R16年度）の中1	
	中1	中2	中3	R6年度の小2	増減（R6中1比）	R3年度生まれ	増減（R6中1比）
豊後高田市	149	176	150	168	+19（113%）	168	+19（113%）

R6.10月時点